



「多くの方の協力に感謝」

校長 曾我 泉

令和4年度も年度末を迎え、学校では、「あと何日」や「最後の〇〇」という言葉が聞かれるようになってきました。どんなことができるようになったのか振り返るとともに、これからどうしていきたいかも考えていく機会となっています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の対策をしながら、できることが増えてきました。

その中でも印象的だったことは、校外の見学等に行き、そこで働く方からお話を聞いたこと、また、多くのゲストティーチャーの皆さんにお世話になったことです。

人数が多い西原小学校の見学を受け入れることは、見学側にとっても気をつかう大変なことです。それでも、工夫をして受け入れてくださいました。他の学校より、多くの方に関わっていただいていることでしょう。

ゲストティーチャーの方々にもずいぶんお世話になりました。2月だけでも、「プログラミング」「剣玉」「人権擁護委員」「体操教室」「おはなしカメさん」「投げ方教室」「金融教室」「行政相談員」「キャリア教育」「ハチラボ」「そろばん教室」「公開受付ボランティア」と、たくさんの方にご来校いただきました。

中でも、印象的だったのは6年生のシブヤ科「ミライの自分をシブヤで探す」で行った仕事について話を聞く授業（キャリア教育）です。6年生の児童が、様々な職業に携わる方々から、仕事に対する思いを教えていただきました。お話には、つながりを大切にすることや大事にしている思いなどが詰まっていて、子供たちもどんどんのめりこんでいきました。皆さんからいただいたお話をきっかけにして、子供たちは自分たちが、今何ができるか、これから何をしたいか考えています。この後、幡代小学校の子供たちと互いに自分たちの学習の成果をプレゼンテーションします。どのような発表会になるか楽しみです。

行政相談員の方は、3年生の提案を聞き、休みの日に現場まで足を運び、区に提案するための準備を進めてくださっており、子供たちの学びをよりよいものへとつなげてくださっています。

子供たちの成長は、周りの大人に喜びをもたらします。周りの大人たちは、西原小学校の子供たちが成長することに対して同じ思いをもつ応援団です。今後も、手を取り合いながら、子供たちの成長を見守っていききたいものです。

保護者、地域の皆さま、今年度もありがとうございました。



3月の目標

【生活目標】

協力してみんなの物をきれいにしよう

【保健目標】

耳を大切にしよう

1年間の反省をしよう

【給食・食生活】

楽しい食事ができたかふりかえってみよう

自分の食生活をふりかえってみよう